

JR宗谷線普通列車の脱線について

1 概要

- (1) 発生日時 令和7年4月8日 6時42分頃
- (2) 発生場所 宗谷線 天塩中川～問寒別駅間
- (3) 発生状況 普通列車（音威子府 午前5：35発 稚内行き 1両編成）の後輪が脱線
- (4) 概況
 - ・走行中に縦揺れを感じたため非常停止。車両を点検したところ、後輪が脱線していること、付近の線路の盛土が約46mにわたって崩れていることを確認。
 - ・けが人無し（乗客0名、乗務員2名）
 - ・原因含め、詳細は現在調査中

2 脱線による影響

- ・8日は宗谷線音威子府～稚内間で終日運転見合わせ、9日以降も当面の間運転見合わせ。
【運休】15本（特急6本、普通9本）
- ・復旧工事のため、特急宗谷・特急サロベツの旭川～稚内間は、当面の間運休することから、JRにおいて、9日以降、旭川～稚内間のバス代行輸送（2往復/日）を実施。

3 事故後の対応

- ・国土交通省は本件を事故と認定し、運輸安全委員会が鉄道事故調査官を派遣。現地調査を実施し、調査終了次第、JRにおいて復旧作業に着手。
- ・道は、8日、担当局長がJRを訪問し、早期原因究明と再発防止を申し入れ。原因等は調査中であるが、引き続き情報収集に努めるとともに、鉄道運行の安全・安心の確保に向けて、必要な対応を関係者に求めていく。